



本資料に記載されている計画、見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



2023年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社コマダホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 甘利 祐一
 (コード番号: 3543、東証プライム・名証プレミア)
 問い合わせ先 取締役 CFO 清水 宏樹
 TEL. 052-936-8880

中期経営計画の上方修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年4月14日に公表いたしました2026年2月期を最終年度とする中期経営計画「VALUES 2025」の数値目標を下記のとおり上方修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 見直しの理由

当該計画策定以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大（以下、「コロナ禍」という。）、地政学リスクの高まりや円安による原材料価格及びエネルギーコストの高騰、人材採用難による働き手不足の深刻化、コロナ禍の影響による消費者行動・価値観の変化等、極めて先行き不透明な経営環境が継続しておりますが、当社グループ及びFC加盟店様によるお客様への安全・安心なサービスの提供及びQSCの向上に関する取り組みにより、2023年2月期の売上収益並びに営業利益はコロナ禍前の2020年2月期の水準を上回りました。また、足元ではコロナ禍に対する制限が緩和され、経済社会活動の正常化や景気の持ち直しの動きが見られております。

今般、こうした事業環境の変化を踏まえ、当社グループは中期経営計画に掲げる「財務価値の維持拡大」のうち、EPS（1株当たり利益）とROIC（投下資本利益率）についての数値目標を次のとおり上方修正することといたしました。なお、中期経営計画に掲げております「財務価値の拡大」を除く重点施策に変更はありません。

当社グループは、引き続き「“くつろぎ”で、人と地域と社会をつなぐ」をスローガンに掲げ、経済価値の向上と社会課題の解決に貢献しながら、持続的な成長を目指してまいります。

2. 見直しの内容（見直し後の該当箇所を下線表記）

	当初目標	修正目標	(参考) 2023年2月期実績
EPS (1株当たり利益)	年平均成長率 10%以上	年平均成長率 <u>13%以上</u>	22.9%
ROIC※ (投下資本利益率)	中期経営計画最終年度に 10%以上	中期経営計画最終年度に <u>11.5%以上</u>	10.5%
自己資本比率	中期経営計画最終年度に 40%以上	(変更なし)	40.5%
総還元性向	中期経営計画期間累計で 50%以上	(変更なし)	47.8% ※2年度累計

※ROIC＝税引後営業利益÷（有利子負債期首期末平均＋資本の期首期末平均）なお、有利子負債にはリース負債を含まない。

以 上